

## 平成30年度事業報告について

### I 概 要

少子高齢化が急速に進むとともに労働力人口も減少し、長野県内においても高い有効求人倍率が続くなど人手不足感のあるなかで、会員の豊かな経験、知識、技能を活かし活躍出来るシルバー事業は着実にまちづくりに貢献しており、今後も一層の推進が求められています。

しかし、会員数については平成21年度をピークに微減の傾向が続き、就業の依頼があってもそれに十分応えられなかったり、会員の就業ニーズの多様化等により就業に結びつかなかった状況も発生していました。

全国のシルバー人材センターにおいても会員の増は喫緊の課題となっており、全国シルバー人材センター事業協会では7年間で会員を100万にする目標を設定するなど、会員の増に取り組んでいます。

そこで、当センターでも平成30年1月から入会説明会の見直し等、会員の増に向けて様々な対策に取り組んだ結果、30年度末の会員数は1,624人となり29年度に比べ77人(4.9%)の増となり、全国シルバー人材センター事業協会の会員100万人達成計画に基づく目標数値3.9%を上回ることができました。

また、事業実績についても平成30年度は比較的好調を維持することができ、派遣業務を含む合計実績額は前年比1千3百万円(1.6%)増の8億2百万円となり、平成25年度以来の8億円台を回復しました。

このほか、シルバー事業の安定的な運営と会員の就業機会確保を図るため、広報活動や各種講座等の開催によりシルバー人材センター事業の周知に努めたほか、安全・適正就業の確保、組織体制の充実や健全な財政運営の維持に取り組みました。

### II 事業の実施状況

#### 1 就業機会の拡大

多様化する地域ニーズや会員の就業ニーズに対応するため、新たな就業機会の確保と拡大に努め、特に国の補助制度等を活用した就業機会の提供、独自事業、福祉・家事援助サービスの拡充、事業の普及啓発活動等に取り組みました。

##### (1) 国の補助制度等を活用した事業

- ① 地域就業機会創出・拡大事業として空家等の適正管理事業、放課後学習支援事業、りんご栽培及びりんご栽培員養成事業を実施

- ② 高齢者活躍人材育成事業として、りんごの摘花、剪定講習会を実施し、就業機会を拡大
- ③ 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業による派遣事業の推進
- (2) 独自事業・自主事業
  - ① 独自事業として「パソコン教室」、「門松作り事業」、「刃物研ぎ」「シルバーファーム」、「シルバーショップえがお」などの事業の継続と拡充の支援
  - ② 趣味のグループ活動を充実発展させて、独自事業に繋がる新しい自主事業の創出の取組みの実施
- (3) 福祉・家事援助サービス事業の推進
  - ① 介護予防・日常生活支援総合事業講習会開催などの実施体制の構築の推進
  - ② 従来から実施している高齢者生活援助サービス事業の推進
- (4) 普及啓発活動の推進
  - ① 10月の普及啓発促進月間に合わせての奉仕活動の実施
  - ② 地方紙への広告掲載やチラシ作成配布等による普及啓発活動の実施
  - ③ 役員等による企業訪問、就業開拓の実施
  - ④ 会報「広域シルバーまつもと」の発行、普及啓発用カレンダーの作成
  - ⑤ 第11回シルバーまつりを開催し、シルバー事業の啓発活動を実施
  - ⑥ ハローワークでの月1回の求職者セミナーに参加し、事業を周知
  - ⑦ イベント等でのシルバー事業の周知

## 2 安全・適正就業の徹底

会員ひとり一人が自分自身の課題として「安全は全てに優先する」をモットーに、重点目標を引続き「事故撲滅」として組織を挙げて取り組みました。

下記に掲げるように、シルバー保険の対象となる事故件数は減少し、比較的軽微な事故を含めた全体でも発生件数は前年度より減少しました。

また、適正就業については「雇用まがい」や「偽装請負」などが疑われる就業については、派遣就業への切替に努めたほか、地区懇談会の際に健康講座も実施しました。

### (1) 30年度事故発生状況（シルバー保険対象の事故件数）

合計	5件	(6件減)		
内訳		傷害事故	3件	(4件減)
		賠償事故	2件	(2件減)

## (2) 安全就業

- ① 刈払い機作業などの安全講習会の実施、安全就業のチラシの配布、公園管理作業講習会の実施、作業前の「安全ミーティング」の取組みを継続実施
- ② 安全・適正就業委員会独自のパトロールを実施し、合計9カ所の作業現場を訪問
- ③ 熱中症予防のため会員に周知のチラシ配布、地区懇談会での保健師による健康講座の実施

## (3) 適正就業

- ① 役員企業の訪問の際等に、適正な就業時間確保を依頼
- ② 指揮・命令が必然的に伴う業務や、法令上請負業務では実施できない業務など、請負、委任に馴染まないものについて、労働者派遣事業への切替を推進

## 3 組織体制の充実

### (1) 組織体制の充実強化

センター運営の基本である会員の自主的、主体的な運営の実現に向けて、センターの活動への積極的な参画を促した他、職群班等の充実に努めました。

- ① ボランティア活動やシルバーまつりへの参加の呼びかけ
- ② 正副班長研修の開催、地区懇談会の実施（出席者 1,345人 出席率 84.5%）
- ③ 職群班への加入促進と技術・安全意識向上に向けた取組
- ④ 地域作業班の新設、班員の登録を推進
- ⑤ 女性会員の交流会の開催
- ⑥ シルバーショップえがおの運営の充実

### (2) 会員の増対策

平成30年1月から、会員増を進めるため入会説明会の方法を見直し、月2回定例的な開催に変更したほか、より説明会に参加しやすいよう地区公民館での出前説明会や女性向けの説明会開催など様々な取組を行いました。

- ① 会員以外の方にセンターに来ていただく機会を増やしシルバー事業を理解していただくため一般の方向けの様々な講習会を開催して入会を促進

- ② 女性向け説明会を開催するなど、女性会員の増を推進
- ③ 出前説明会は地区公民館での開催のほか、えがお講座室での講座開催の際にも実施するなど、臨機に対応
- ④ 「会員ひとり1会員募集活動」について平成30年10月から表彰規定を設け、制度を周知
- ⑤ 毎月ハローワークで開催の求職者支援セミナーに出席し、入会案内を実施

### (3) 会員の技術向上

会員の技術向上を図り、就業者や就業機会の拡大を目指すため、各種講習会・研修会を実施しました。

#### ① 高齢者人材育成事業

果樹農園スタッフ講習（摘果講習）	5月	11人受講（一般含む）
同（剪定講習）	2月	36人受講（一般含む）

#### ② その他の講習

ア 剪定実技講習会	5月	36人受講
イ 刈払い機取扱実技講習会	5月	15人受講
ウ 介護予防・日常生活支援事業講習会	7月	18人受講
エ 公園管理作業講習会	10月	60人受講
オ 派遣教育訓練	11月	85人受講

#### ③ 一般向け講習

ア 健康体操講座	4～6月	9人受講
イ 刃物研ぎ講座	6月	18人受講
ウ 帯結び講座	7月	5人受講
エ フラワーアレンジメント講座	7月	12人受講
オ 松本手まりづくり講座	7月	8人受講
カ ちりめん干支づくり講座	11月	22人受講
キ 洋ねこづくり講座	1月	16人受講
ク かぎ針編み講座	2～3月	16人受講
ケ スポーツ吹き矢講座	3月	9人受講

### (4) 「シルバーふれあい広場」の開催

平成30年度から、従来の4回開催を3回に変更して実施し、会員が栽培した農作物や手作り作品を中心に販売し、独自事業・自主事業の販路として定着したほか、入会案内などシルバー事業のPRを実施しました。

#### (5) 関係機関との連携強化

関係市村やJA松本ハイランド、松本商工会議所など関係団体との連絡を密にし、センター事業へのご支援、ご協力をいただきました。

また、全国シルバー人材センター事業協会や長野県連合会主催の大会、研修会に参加し、的確に情報を把握し、適正な事業運営に努めました。

#### 4 財政基盤の強化・健全化

国では、従来のシルバー事業に対する補助制度を見直しつつあり、規模による定額の補助金を削減し、その分高齢者活用・現役世代雇用サポート事業などの事業費補助を増やしています。

また、会員数の増加割合に応じて運営費補助を加算する制度を導入するなど、新しい考え方を打ち出しています。

そこで、これらの予算や制度の活用を進めていくことが必要なことから、30年度では事務局体制を整えるとともに、健全な財政運営に努めました。

#### 5 事業実績（3月末）

契約金額（派遣事業を含む）	802,610 千円（前年比 101.6%）
（うち公共請負）	232,497 千円（前年比 103.5%）
（うち民間請負）	379,418 千円（前年比 99.7%）
（うち一般家庭）	100,507 千円（前年比 98.1%）
（うち独自事業）	20,165 千円（前年比 109.0%）
（うち派遣就業）	70,021 千円（前年比 110.2%）
就業率	82.4%（前年比 1.9ポイント減）